

令和5年度 学校関係者評価報告書

令和5年度自己点検・自己評価項目に添い、学校関係者評価委員に本校の自己点検結果について採点と講評いただきました。その結果一覧について以下に公表いたします。なお数値化された採点の評価基準については以下の通りです。
〔 4 = 適切 / 3 = ほぼ適切 / 2 = やや不適切 / 1 = 不適切 〕

◆基準 1 教育理念・目標

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
1-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1-2 学校における職業教育の特色は何か	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	4	4	4	4	3	3.7	4
1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	4	4	4	4	4	3	3.9	3
1-5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4

評価 委員 関係 会 意 者 見 評	▶ 教育方針として、「感謝」(学修環境や健康に感謝する心を学ぶ)、「自他共栄」(人間関係の重要性を学ぶ)、「自律」(自ら学ぶ心を修得)の3つを軸としたCM教育(cultivate morality)を取り入れており、学生には各学科での授業やボランティア活動、学校行事等で学生への周知を行っている。
---	--

◆基準 2 学校運営

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4	4	4	4	4	3	3.9	4
2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4	3	4	4	4	4	3.9	3
2-4 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	4	3	3	4	4	3	3.6	4
2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4	3	4	4	4	3	3.7	4
2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4	3	4	3	4	3	3.6	4
2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4	4	4	3	4	4	3.9	3
2-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4	4	4	4	4	3	3.9	4

学 校 委 員 関 係 会 意 者 見 評 価	▶ 教務会を最高決定機関としており、規則や規程に明確化されていない個別案件は教務会にて都度、審議を行っている。個別案件までは、規則・規程で縛ることは行っていない。 ▶ 「学校関係者評価報告書」「自己評価報告書」に関し、10月での情報公開となっているので、もう少し早めの情報公開としたい。
--	--

◆基準3 教育活動

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4	4	4	3	4	4	3.9	4
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4	4	4	3	4	4	3.9	4
3-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4	4	4	3	4	4	3.9	3
3-6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4	4	4	3	4	4	3.9	4
3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4	4	3	4	4	3	3.7	4
3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4	4	4	3	4	4	3.9	4
3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4
3-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4	4	4	4	4	4	4	3
3-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	4	4	3	4	4	3.7	4
3-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	4	4	3	4	3	3.6	4
3-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4	4	3	4	4	4	3.9	4
3-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	4	4	3	4	4	4	3.9	3

学 校 委 員 関 係 者 見 評 価	<p>▶各学科で臨床施設での実習や現場での実習数を増やすことができるようになってきている。</p> <p>▶令和5年度において全学科の教員配置が整い、教員要件も全て問題ない状況である。要件に不安がある場合は、愛知県医務課に確認をとっている。</p> <p>▶教員の研修参加が増えてきており、看護学科と理学療法学科については、令和5年度において全員が教員要件取得となっている。他の学科は、教員要件がないと授業が担当できない状況である。</p> <p>▶臨床実習を担当しているが、マスク着用に関し忘れてしまう学生がいるので、患者さんに対する意識に関し徹底をしてほしい。</p>
--	--

◆基準4 学修成果

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
4-1	就職率の向上が図られているか	3	3	4	4	4	4	3	3.6	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか	3	2	4	4	4	4	2	3.3	3
4-3	退学率の低減が図られているか	3	2	4	3	3	4	3	3.1	2
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4	4	3	3	4	4	3.7	3
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4	4	3	3	4	3	3.6	4

学 校 委 員 関 係 者 見 評 価	<p>▶令和5年度に関する国家試験合格率(新卒)は全学科で令和4年度を上回っており、学科によっては受験者全員が合格であった。一方で、看護学科については全国平均を下回る結果となった。</p> <p>▶令和5年度の退学率は5%~13%と学科間で差があり、文部科学省調査では、大学における中退率は1年間で約2%、4年間では約7.8%ということから、本校の退学率(中退率)はやや高い。また、令和4年度における本校の退学率は6%~7%のため、低減が図られていない。</p>
--	---

◆基準5 学生支援

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	4	3	4	4	4	4	3.7	3
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	4	4	4	3	4	4	3.7	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	3	3	4	3	4	3	3.3	4
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	3	4	4	4	3	4	3	3.6	3
5-7	保護者と適切に連携しているか	3	3	4	4	4	4	4	3.7	3
5-8	卒業生への支援体制はあるか	3	3	4	4	3	4	4	3.6	4
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	4	3	4	3	4	3	3.4	3
5-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	3	3	4	4	4	3	3.4	2

学校 委員 関係 者 意見 評価	▶進路・就職に関する支援体制としては、キャリアアドバイザーによる個別面談だけでなく、全学科でのキャリアガイダンスを実施することで、全体支援に向けた体制整備を実施した。
	▶令和5年度については、経済的理由での退学者が少なくなっており、経済的困難な学生には分納・奨学生制度での支援を行っている。また、令和4年4月入学生から高等教育修学支援金が受給できない状況が続いていたが、令和7年4月入学生より受給対象となる旨の通知が、愛知県から届いている。

◆基準6 教育環境

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	4	3	4	4	4	3	3.6	3
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	3
6-3	防災に対する体制は整備されているか	3	4	3	4	4	4	4	3.7	3

学校 委員 関係 者 意見 評価	▶令和5年度に関しては、ここ数年の新型コロナウイルス感染予防対策による影響から遅延していた空調設備の大規模修繕工事に着手したが、全体的には整備途中という状況である。
	▶海外研修については再開することができた。防災に関しては、避難訓練の実施をしているが備蓄に関しては整備途中の状況である。
	▶愛知県、岐阜県、三重県の大学を含めた理学療法士養成校のほとんどを訪問しているが、この学校のハード面に関しては好印象であり、同じ学校で様々な職種を養成しているのは特色だと感じている。

◆基準 7 学生の受入れ募集

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	3
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	4	4	4	3	4	4	3.7	3
7-3	学納金は妥当なものとなっているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	4

学校関係者意見評価	<p>▶入学者の定員充足率は81%と専門学校としては良好な状況であると考えられるが、定員変更を実施していることから、入学定員の充足率は100%を必達目標としている。</p> <p>▶大学進学志向が強く、大学入試の軟化という状況のなかで、高等学校との連携が難しくなっている。一方で、社会人の場合は学校選定を冷静に行っており、本校の教育成果に共感をしていただいた方が入学へとつながっている。</p> <p>▶「全日制高校の先生方は非常に多忙のため専門学校の研究にあてる時間がないこと」「二極化が進んでおり経済的理由から進学が困難な状況もあること」「千種という立地条件、全国展開をしている学園、Webサイトの活用」などを考慮した学校のアピールを展開してほしい。</p> <p>▶愛知県に1校しかなかった養成校が3校、4校と増え始めた頃は学生も多かったが、現在は少子化が進行しており学生確保は厳しい状況となっている。一方で、自身で生活をしていくための資格が必要となっている時代であり、専門学校はそうした状況に合致している。</p>
-----------	---

◆基準 8 財務

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	3	4	3	3	3	3.3	3
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4	3	4	3	4	4	3.7	4
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4	3	4	4	4	4	3.9	4

学校関係者意見評価	<p>▶完成年度である令和4年度に続き、令和5年度に関しても学校単体としての事業収支報告書における経常収支差額は黒字となっている。一方で、開校当初からの赤字に対する補填は継続中という状況である。</p>
-----------	---

◆基準 9 法令等の順守

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
9-1	法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4	4	4	3	4	3	3.7	4
9-4	自己評価結果を公開しているか	4	4	4	4	3	4	4	3.9	4

学校関係者意見評価	<p>▶令和5年度に実施された愛知県による実地調査、法人本部による学内監査による指摘事項に関する報告を実施した。</p>
-----------	--

◆基準10 社会貢献・地域貢献

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	3
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	4
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	4	4	4	3	4	4	3.7	3

学校 委員 関係 者 見 評 価	<p>▶「認知症カフェ」「お灸教室」などの活動は実施している学科が偏っている。また、令和6年能登半島地震の際には、講師派遣の対応ができるように、災害派遣の研修を受講した教員とスケジュール調整等の準備を行っていた(結果的に講師派遣に関する依頼はなし)。</p>
------------------------------------	---

令和6年8月22日

学校法人 平成医療学園
名古屋平成看護医療専門学校
校長 高木 保子